





911.2  
R76



早稲田大学  
文学部図書

教員図書

伊地知鉄男

昭43・教育研究

43-4001



りぬり

あふらにたふゆひんを

ふけふいふのふけふを



何処

當横書体印

三筆西家体



りぬりたふゆひんを

あふらにたふゆひんを

ふけふいふのふけふを

あふらにたふゆひんを

ふけふいふのふけふを

あふらにたふゆひんを

ふけふいふのふけふを

あふらにたふゆひんを



初は我らと春とを思ふ中

風あつてふりのふりて

山平いふとあはれぬ

たつた柳は風あつて

あつた風あつて

そはつてあつて

早のあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた



樹のさかえの介る柳の 実

えもあななく雲のふり 実

入るる日もあまの雲らん 実

人紛傳る園のあけさ 実

秋のひくまぬ衣ふらん 実

くもすことと雲の雲 実

ねんねねむの梅のあり 実

雲のつるさぬく 水鳥 実

さけやぬ水の上のなと 実

田舎やうと時をゆるん 実

春も只まらぬ花のしるし 実

ふれぬあまのひのけのしるし 実

物ゆふの月まはるしるし 実

ちとちとをいつくまぬ 実

うりねの屋の神の柳を 実

麓やうの柳のしるし 実

たぬねのつるさぬのしるし 実

誰すこゝの柳のしるし 実

柳のしるしをうけり 実

まのしるしをうけり 実

我を人に見せり 実

おをくふもさぬしるし 実

くも雲のしるしをうけり 実

雲のしるしをうけり 実







あゝぬきものなる揃ふおひれ 実

春の女侍君とのうめ 実

永くぬき物なり 実

庭のうらな 実

あゝぬきものなる 実

いふ 実

秋のふゆの 実

け川 実

いふ 実

秋のふゆの 実

いふ 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

あゝぬきものなる 実

御 幸 白

実 後 中



文明六年正月書

何よ

昨より心算や細くひん  
去年の度り事のき風後  
吾々の都より地味て日  
あつてもうたれ日めさけ  
衣の客のあやむじ  
霧のき野さうの極人  
あつてもうたれ日めさけ  
元々もたれ地味さけ  
後より心算や細くひん  
父より海よりさうの極人  
傾くたれさうの極人  
あつてもうたれ日めさけ  
うまお花のさうの極人  
つてもたれあやむじ  
あつてもうたれ日めさけ  
三つてもうたれ日めさけ  
月より人よりさうの極人  
あつてもうたれ日めさけ  
一つてもうたれ日めさけ  
あつてもうたれ日めさけ



[illegible]

紙

戲

紙

威

同

五

祇

日

雲

日

紙

威

公

盛

紙

營

張

17

丙

口

845

衛

本



枚くはきふたふし  
威

つねいふふちをきく 月

山伊のりくまふて  
紙

三子乃其日

宇中より庵上の風なり

秋の月あふる庭よりゆく  
日

あまのついでに  
日

あつたふりて  
紙

これの健康を我より守る

[illegible]

心烟より春より花より草

方以類聚乃成多事也

初書のきつて厚のあつてゐる

空山也  
水以也

又ひき流るやうに

丹心在野史  
明公在野史  
紙

今乃日也 臨之 神子也 哉

海山先生

乃心所托之中心也  
 盛

毎きふせよひ人たそ  
祇

はの世も何よりらん  
日

此乃吾事也  
盛

天竺より来る花より  
祇

乙卯年  
 歲次己卯  
 月次庚申  
 日次辛酉  
 時次壬戌



[illegible]







張

日

帝

張

五

同

紙

五

棧

10

2

12

1

1

水

7

1

4

2

78

15

1

18

1







重

孤

重

抵

四

重

祇

互

5

40

1

1

1

1

2

4-

7

三

公

社



三ひの作を田舎のそはへ  
 時中も秋の甲やうらん  
 山陰の暮や梅のうまひて  
 松の葉のうまひをうら  
 うまひをうらうらうら  
 暮のうまひをうらうら  
 仙のうまひをうらうら  
 んをうらうらうらうら  
 おうらうらうらうら  
 秋のうらうらうらうら  
 少のうらうらうらうら  
 めのうらうらうらうら  
 傍のうらうらうらうら  
 う何事もうらうらうら  
 うらうらうらうらうら  
 ひりうらうらうらうら  
 花のうらうらうらうら  
 庭のうらうらうらうら  
 けうらうらうらうら  
 うらうらうらうらうら

宗祇 五十一  
 賢亨 五十一



全卷三四一接









